

(19)日本国特許庁 (J P)

(12) 公 開 特 許 公 報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開2003-144030

(P2003-144030A)

(43)公開日 平成15年5月20日(2003.5.20)

(51)IntCl⁷

識別記号

F I

テマコード(参考)

A 0 1 M 1/10

A 0 1 M 1/10

B 2 B 1 2 1

審査請求 未請求 請求項の数3 OL (全 5 頁)

(21)出願番号 特願2001-353033(P2001-353033)

(22)出願日 平成13年11月19日(2001.11.19)

(71)出願人 501447797

奥 順吉

静岡県藤枝市高柳2010-5

(72)発明者 奥 順 吉

静岡県藤枝市高柳2010-5

(74)代理人 100092923

弁理士 石垣 達彦

Fターム(参考) 2B121 A117 BA13 BA36 BA39 BA47

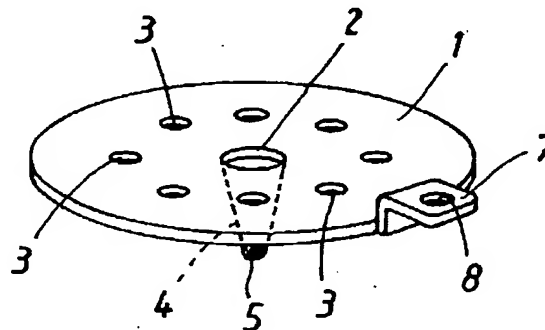
CC12 CC13 EA03

(54)【発明の名称】 ゴキブリ捕獲器

(57)【要約】

【課題】 夜間に流しの排水口とかコーナーに置いた生ゴミの収容籠に設置して収容籠に進入したゴキブリを一網打尽に捕獲することができるゴキブリ捕獲器を提供しようとするものである。

【解決手段】 流し台における生ゴミの収容籠の開口端に重ねる蓋体に複数の臭気口と、少なくとも一個のゴキブリの進入口を形成し、この進入口の下側に出口が小径の誘導管を垂設し、誘導管にはゴキブリの通過時に外方へ広がって出口が大径となるように、下端から上方に向かって多数の切り目線をいれ、一旦誘導管を通過したゴキブリは、外部に出られないようにする。また、ゴミの収容籠内に入れた網袋を、上記蓋体と同時に持ち上げることにより、ゴキブリを容易に捕獲し得るようにしている。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 流し台における生ゴミの収容籠の開口端に重ねる蓋体に複数の臭気口と、少なくとも一個のゴキブリの進入口を形成し、この進入口の下端に、出口が小径の誘導管を垂設し、誘導管にはゴキブリの通過時に外方へ広がって出口が大径となるように、下端から上方に向かって多数の切り目線を形成したことを特徴とするゴキブリ捕獲器。

【請求項2】 流し台における生ゴミの収容籠内に収容する網袋と、生ゴミ収容部の蓋体とよりなり、上記網袋の開口部には、この開口部を絞って閉口するリング状の紐を設け、蓋体には複数の臭気口と、少なくとも一個のゴキブリの進入口を形成し、この進入口の下端に、出口が小径の誘導管を垂設し、誘導管にはゴキブリの通過時に外方へ広がって出口が大径となるように、下端から上方に向かって多数の切り目線を形成し、上記生ゴミの収容籠から突出した網袋の開口部を外側へ広げ、その上に上記蓋体を重ねたことを特徴とするゴキブリ捕獲器。

【請求項3】 蓋体の左右両側部の下面に、誘導管より縦方向に長い補強部材を突設したことを特徴とする請求項1又は2に記載のゴキブリ捕獲器。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】 本発明は、家庭や料理店等における流し台で使用するゴキブリ捕獲器に関するものである。

【0002】

【従来の技術】 家庭の台所や料理店等の厨房における流しのコーナーには生ゴミの収容籠を置いている。また流しの中央部に設けた排水口内には、生ゴミの収容籠を備えている。そのため、夜になるとゴキブリが生ゴミの臭いに誘われて流しの周辺に出没し、収容籠に進入している。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】 本発明は、夜間に流しの排水口とかコーナーに置いた生ゴミの収容籠に設置して収容籠に進入したゴキブリを一網打尽に捕獲することができるゴキブリ捕獲器を提供しようとするものである。

【0004】

【課題を解決するための手段】 本発明のゴキブリ捕獲器は上記課題を解決するために、請求項1の発明は、流し台における生ゴミの収容籠の開口端に重ねる蓋体に複数の臭気口と、少なくとも一個のゴキブリの進入口を形成し、この進入口の下側に出口が小径の誘導管を垂設し、誘導管にはゴキブリの通過時に外方へ広がって出口が大径となるように、下端から上方に向かって多数の切り目線を形成したことを特徴としている。

【0005】 この発明は、蓋体を流しの排水口、或いは流しのコーナーに置いた生ゴミの収容籠の上に重ねた場

合、収容籠内の残飯等の臭いが蓋体に形成した臭気口より外部に発散するため、この臭いによりゴキブリが蓋体上に誘導され、進入口から導入管内に入り、小径の下端を通過して収容籠内に進入する。収容籠に一旦進入したゴキブリは、導入管の下端が小径のため、外部に出られなくなる。そこで蓋体の上方より殺虫剤を噴霧してゴキブリが弱った頃を見計らって蓋体を取り、収容籠内のゴキブリを生ゴミと一緒に処理するのである。

【0006】 請求項2の発明は、流し台における生ゴミの収容籠内に収容する網袋と、生ゴミ収容部の蓋体とよりなり、上記網袋の開口部には、この開口部を絞って閉口するリング状の紐を設け、蓋体には複数の臭気口と、少なくとも一個のゴキブリの進入口を形成し、この進入口の下端に、出口が小径の誘導管を垂設し、誘導管にはゴキブリの通過時に外方へ広がって出口が大径となるように、下端から上方に向かって多数の切り目線を形成し、上記生ゴミ収容籠から突出した網袋の開口部を外側へ広げ、その上に上記蓋体を重ねたことを特徴としている。

【0007】 この発明は、蓋体を流しの排水口にセットした生ゴミの収容籠、或いは流しのコーナーに置いた生ゴミの収容籠に網袋を収容し、この網袋内に残飯等を入れ、夜間、排水口、或いは生ゴミの収容籠から突出した網袋上に蓋体を重ね、網袋のリング状の紐の一箇所を蓋体のフックに係止させておくと、前記の場合と同様に、収容籠内の生ゴミ等の臭いに誘われたゴキブリが蓋体の進入口から導入管内に入り、小径の出口を広げて収容籠内に進入する。ゴキブリにより押し広げられた出口は、ゴキブリの通過と同時に現状の小径に戻るため、収容籠に一旦進入したゴキブリは、外部に逃げ出すことができなくなる。そこで蓋体の上方より殺虫剤を噴霧するか、或いは殺虫剤を噴霧することなく蓋体を持ち上げると、生ゴミ等の重みが作用して紐が引き上げられ、袋体の開口端が絞られて閉口する。この紐を蓋体のフックから離脱し、生ゴミと一緒にゴキブリの入った網袋を処理するのである。

【0008】 請求項3の発明は、請求項1又は2の発明において、蓋体の左右両側部の下面に誘導管の長さより僅かに長い補強部材を突設したことを特徴としている。

【0009】 この発明は、蓋体の下面に設けた補強部材の高さが、誘導管の長さより長いので、流し台等において部屋の壁に吊り下げたりした場合、誘導管が流し台や壁に接触することがない。そのため誘導管の下端である出口の変形が防止されるのである。また蓋体を生ゴミの収容籠上に設置した場合、補強部材が収容籠の外側または内側に位置するため、蓋体が収容籠から滑り落ちることがないのである。

【0010】

【発明の実施の形態】 以下、本発明に係るゴキブリ捕獲器の実施の形態を、図1～図3に基づいて説明する。図

1はゴキブリ捕獲器の斜視図であり、図2はその使用状態を示す縦断面図であり、図3はその要部を示す断面図である。

【0011】符号1はプラスチック製の透明の蓋体であり、中央にゴキブリの進入口2を形成し、その外周には多数の臭気口3を穿設している。上記進入口2は複数個設けることもあり、進入口2の下端には、プラスチック製の誘導管4を垂設している。この誘導管4は進入口2に比し、下端の出口5を小径に形成している。しかもゴキブリが誘導管4内を通過する時、出口5が広がるように、誘導管4の下端から上方に向かって多数の切り目線6を設けて誘導管4を柔軟にしている。また上記蓋体1の側面には把手7を設け、これに吊り下げ用の透孔8を穿設している。

【0012】符号9は流し10に形成した排水口であり、この排水口9の上部には空洞部11を形成し、空洞部11には生ゴミ12の収容籠13を挿入している。

【0013】図2に示すように、上記蓋体1を生ゴミ12の入った収容籠13の上方に載置した場合、ゴキブリは臭気口3から外部に発散する生ゴミ12の臭いに誘われて進入口2から誘導管4内に進入し、ゴキブリにより広げられた出口5から収容籠13内に落下する。透明の蓋体1上からゴキブリが収容籠13内に進入していることを確認した後、蓋体1の上方より収容籠13内に殺虫剤を噴霧してゴキブリを弱らせ、蓋体1を離脱して生ゴミ12と共にゴキブリを処分するのである。

【0014】次に、本発明に係るゴキブリ捕獲器の他の実施の形態を、図4～図6に基づいて説明する。図4はゴキブリ捕獲器の使用状態を示す縦断面図であり、図5は図4の縦断面図であり、図6はゴキブリを捕獲した網袋の斜視図である。

【0015】符号21はプラスチック製の透明の蓋体であり、中央にゴキブリの進入口22を形成し、その外周には多数の臭気口23を穿設している。上記進入口22の下端には、プラスチック製の誘導管24を垂設している。この誘導管24は進入口22に比し、下端の出口25を小径に形成している。しかもゴキブリが誘導管24内を通過する時、出口25が広がるように、誘導管24の下端から上方に向かって多数の切り目線26を設けて誘導管24を柔軟にしている。また上記蓋体21の前側には後記する紐の係止部27を有する把手28を設け、後側には吊り下げ用の透孔29を穿設している。

【0016】更に蓋体21の左右両側には、前記誘導管24の長さより縦方向に長い補強部材30を突設している。また上記補強部材30は、図4に示すように収容籠35の外側に嵌合しているが、収容籠35の内側に嵌合するように形成しても良い。また内側に嵌合する場合はリング状に形成することも可能である。

【0017】符号31は網袋であり、その開口部には、これを絞って閉口するためのリング上の紐32を差し通

している。また符号33は流し34のコーナーに載置する生ゴミ35の収容籠である。

【0018】図4及び図5に示すように、上記生ゴミ35の収容籠33内に網袋31を入れ、収容籠33の上端から突出した部分を外側に広げて、その上に蓋体21を被せ、紐32の網袋31からの突出部を把手28の係止部27に引掛けた後、これを流し34のコーナーに設置すると、ゴキブリは臭気口23から外部に発散する生ゴミ35の臭いに誘われて進入口22から誘導管24内に進入し、ゴキブリにより広げられた出口25から収容籠33内の網袋31に落下する。そこで蓋体21の上方より殺虫剤を噴霧してゴキブリを弱らせた後、蓋体21を持ち上げ、把手27に支持した紐32を引き上げると、図6に示すように生ゴミ35の入った網袋31の開口部は紐32により引っ張られて閉口するから、網袋31内の生ゴミ35と共に、ゴキブリを処分することができるのである。

【0019】この実施形態にあつては、蓋体21を持ち上げると同時に、網袋31の開口部を紐32により口を閉じることができるので、殺虫剤を使用しなくても、ゴキブリを捕獲することができる。また、紐32を係止部27に引掛けなくても、使用可能である。

【0020】本発明に係るゴキブリ捕獲器は、図1～図3に示す実施形態のように、流しの排水口9に設置する場合にも、網袋31を使用することもあり、流しのコーナーに置いた収容籠33に設置する場合、網袋31を省略して蓋体21のみを使用することもある。

【0021】

【発明の効果】本発明に係るゴキブリ捕獲器は、以上説明したような形態で実施され、以下に記載するような効果を奏する。

【0022】蓋体には多数の臭気口を設け、また進入口の下端に誘導管を形成したから、臭気口から発する生ゴミの臭いより、ゴキブリを蓋体上に容易におびき寄せることができ、また誘導管を通過したゴキブリは、外部に逃げ出すことができないので、効率的に捕獲することができる。

【0023】請求項2の発明のように、蓋体と網袋とを同時に使用するとき、蓋体と共に袋体を持ち上げることで、網袋の開口部を瞬時に閉鎖してゴキブリを確実に且つ容易に捕獲することができる。この場合は、殺虫剤の使用を省くことが可能である。

【0024】請求項3の発明のように、蓋体の下面に誘導管の長さより長い補強部材を設けるときは、蓋体を補強することができると共に、誘導管の下端である出口の変形を防止し、使用不能になるのを未然に防ぐことができる。また使用状態にあつては、この補強部材が収容籠の外側又は内側に嵌まるため、蓋体が収容籠から滑り落ち、収容籠又は網袋が開口してゴキブリを逃がすことがない。

【0025】更に、網袋の開口部は蓋体により押圧され、隙間を生ずることがないので、収容箱からゴキブリを逃がす虞がない。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明に係るゴキブリ捕獲器の一例を示す斜視図である。

【図2】同上ゴキブリ捕獲器の使用状態を示す縦断面図である。

【図3】同上ゴキブリ捕獲器の要部を示す縦断面図である。

【図4】本発明に係るゴキブリ捕獲器の他の使用状態を示す斜視図である。

【図5】同上使用状態の縦断面図である。

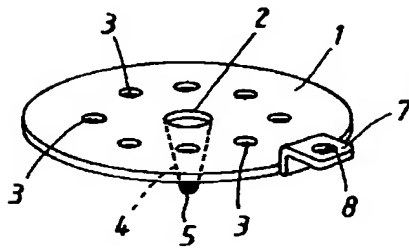
【図6】同上使用状態においてゴキブリを捕獲した網袋を示す縦断面図である。

【符号の説明】

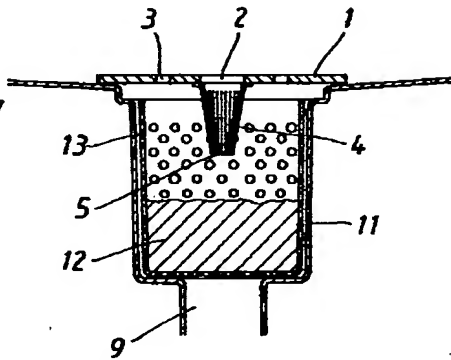
1, 21 蓋体

2, 22 進入口
3, 23 臭気口
4, 24 誘導口
5, 25 出口
6, 26 切り目線
7, 28 把手
8, 29 透孔
9 排水口
10, 34 流し
11 空洞部
12, 33 生ゴミ
13, 35 収容箱
27 係止部
30 捕強部材
31 網袋
32 紐

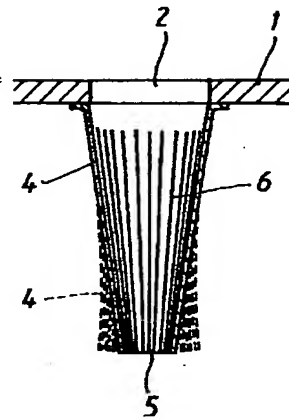
【図1】



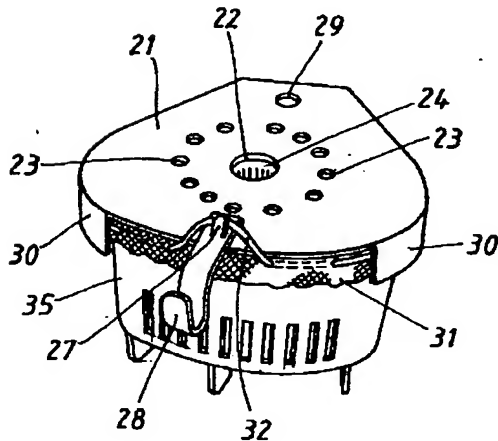
【図2】



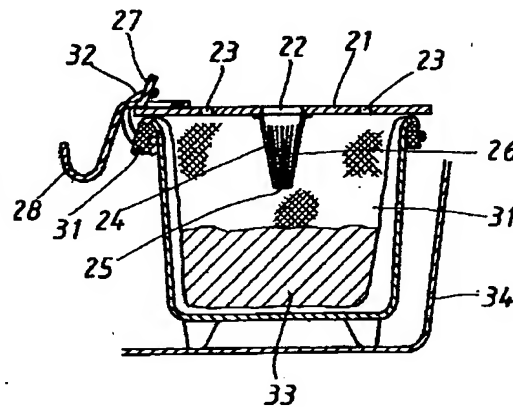
【図3】



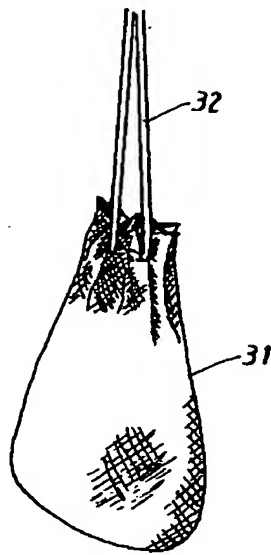
【図4】



【図5】



【図6】



PAT-NO: JP02003144030A
DOCUMENT-IDENTIFIER: JP 2003144030 A
TITLE: COCKROACH CATCHING TOOL
PUBN-DATE: May 20, 2003

INVENTOR-INFORMATION:

NAME	COUNTRY
OKU, JUNKICHI	N/A

ASSIGNEE-INFORMATION:

NAME	COUNTRY
OKU JUNKICHI	N/A

APPL-NO: JP2001353033

APPL-DATE: November 19, 2001

INT-CL (IPC): A01M001/10

ABSTRACT:

PROBLEM TO BE SOLVED: To provide a cockroach catching tool which is arranged in a storage basket of garbage placed at a drainage hole or a corner of a sink at night and cockroaches that enter the storage basket can totally be caught.

SOLUTION: A lid body to be piled on the opening end of the storage basket of garbage in a sink is provided with a plurality of smell holes and at least one cockroach entrance. An induction pipe having a small-diameter exit is vertically formed at the downside of the entrance. A great number of cut lines are formed from the lower end of the induction pipe upward on the induction pipe so that the exit is widened outward and has a large diameter when a cockroach passes. A cockroach passed the induction pipe once can not

go out.

A net bag put in the storage basket of garbage is raised simultaneously with the lid body to readily catch cockroaches.

COPYRIGHT: (C) 2003, JPO